

2016 年度活動報告 初等部訪問

藤原 由紀子（関西学院大学日本語教育センター）

1. 目的

本活動は 2008 年度より継続的に行われているもので、本学留学生が関西学院初等部を訪問し、児童と英語および日本語で交流を持つ。活動の目的は、①留学生が普段接することが少ない年齢層との交流を図ること、②日本の小学校の見学、③異文化理解の促進を図ること、の 3 点である。

2. 活動内容

今年度は、2017 年 1 月 19 日に 29 名、23 日に 16 名の留学生¹⁾が初等部を訪問し、4 年生の児童と交流を行った。まず、簡単な英語で留学生が自己紹介を行い、その後、児童による学校案内ツアーが行われた。ツアーは少人数グループで行われ、児童がこの日のために覚えた英語のフレーズを使って案内や質問を行った。その後の交流授業では、まず、留学生が写真などを用いて、英語と日本語で自分の出身国を紹介し、その後、Q&A 活動やカードを使ったゲームなどで、さらに交流を深めた。留学生は優しく児童の発話を引き出したり、休み時間にも一緒に剣玉で遊んだりするなど、積極的に交流する姿が見られた。初等部紹介では、英語担当教員が PPT で写真を提示しながら、年間行事などについて説明し、その後質疑を行った。すべての活動を通して、使われる英語は非常にシンプルなもので、英語を母語としない留学生にとっても負担のないものであった。

3. 成果と今後の課題

活動後に行ったアンケートでは、本活動が交換留学生にとって良い活動かどうか尋ねる問いに対して「とてもいい (93%) / いい (7%)」と全員が非常に高く評価しており、その理由として、日本の学校を見学する貴重な機会である、英語教師になるイメージが沸いた等の声が多かった。また活動内容についても「とても楽しかった (80%) / 楽しかった (20%)」と参加者全員が肯定的な回答であった。改善希望点については、昨年同様、時間に関するもの（交流時間を長くしてほしい、もっと頻繁に交流したい等）が多く見られた。この点については色々な調整が必要となるため、初等部側と情報共有を行い、より良い活動となるよう努力していきたい。

1) 参加は希望者のみで、19 日に交換留学生 28 名、経営戦略研究科留学生 1 名、23 日に交換留学生 15 名、経営戦略研究科留学生 1 名が参加した。参加者の出身国は 15 カ国、両日とも参加した者は、15 名であった。